

美と微

美の集積と技巧の微

令和2年3月13日(金)～令和2年9月22日(火)



兵庫県立考古博物館 加西分館

古代鏡展示館

Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors

【刻む／彫る】…美と微

粘土などの鑄型に、目的とする図像や紋様を凹凸左右を逆転させて彫り込み、溶けた青銅を流し込む。通常の鏡の技法で生まれる表現であり、肉筆のシンプルな暖かさと、幾何学的な鋭利さを兼ね備える。蜜蝋で浮彫り表現の鏡原型をつくり、写実に富んだ紋飾を鑄出す鏡もある。

【描く／塗る】…美と微

鑄造後の鏡背面に、白黒赤青緑黄色などの多様な顔料で人物や車馬を塗彩し、あるいは水銀に溶かした金を被覆(鍍金/金アマルガム法)する。細密な描画や眩いまでの金色の光輝は、紋飾を鮮やかに強調するだけでなく、多彩で秀麗な仕上がりとなる。

【貼る／嵌める】…美と微

花を象った貝の薄片や、切り抜いた金銀の薄片を貼り固め、ガラスや貴石をモザイクのように嵌め込んで加飾する。モチーフに整って細かな彫りを加えることもある。一般に「宝飾鏡」と呼ばれる。多様な質感と色彩豊かな表現が施され、高貴で華美を極める鏡である。

鏡全面が、パターン化し均整のとれた植物紋様と幾何学紋様に覆いつくされている。とりわけ、鈕(中央の円形の紐とおし)のまわりに集まった六個の円形の花のモチーフに目が奪われる。この著しく図案化された丸い花形紋を基本単位とする団華紋は、六弁蓮華様の中心飾りを中心として、薬を伴う具象的な花や横向きパルメット紋(扇形に開く葉紋様)を放射状に配して構成されている。それは、花卉が放射状に広がった円形のブーケを真上から描いた図像にも見て取れる。その隙間には、半円形の団華紋とパルメット紋が充たされている。合理的に整然と統一された図像からは、几帳面で繁縷なイメージすら与えられると同時に、シンメトリックで複雑、そして華麗で繊細に仕上げられたデザインには、大いに魅了される。それは、あたかも万華鏡をのぞいたときのような、かすかな目眩を覚えるほどである。



楷書で書かれた三二言の銘文が時計回りに巡らされ、この鏡の清明さを讃えるとともに、鏡を服することの効能と未来を予言している。

【銘文】

湛若止水 皎如秋月 清暉内融 菱花外發
洞照心膽 屏除妖孽 永世作珍 服之無沫

団華紋鏡
【隋-唐】(6-7世紀) 23.7cm



雲雷地紋鏡 径16.6cm【前漢】(紀元前2世紀)

鏡体は薄造り(厚さは1~2mm程度)で三弦鈕(三本の併行凸線の紐とおし)、七面縁(匙のようになめらかにカーブして立ち上がる周縁部)の特徴は、戦国鏡の典型的な特徴である。背面の内区は、渦巻き紋(雲紋)と斜辺で対向する三角紋(雷紋)を単位紋様として、これを連続して配置し、緻密で幾何学的な図像を構成している。華やかな装飾性には欠けるものの、シンプルながら繊細な美しさと反復するリズム感が横溢している。



鍍金対置式神獣鏡 径14.9cm【後漢】(紀元前2世紀)

内区には、西王母と東王父像が鈕を挟んで「対置」している。その間隙には、弾琴の伯牙と鍾子期、符を手にした黄帝と対峙する玄女を配し、さらに四体の神獣が侍る。それぞれの表情から衣服や体表の細部にいたるまで極めて精緻に描き出されている。画文帯(外縁の紋様帯)には、雲車を牽く六匹の龍や神仙と瑞獣が飛翔している。全面は鍍金(金アマルガム法)が施され、鮮やかな金色の輝きを今にとどめている。さらに、鈕頂部には瑞獣、外縁端部には格子紋を充填した鋸歯紋が金象嵌されていることも見逃せない。



ガラス象嵌四神紋鏡 径20.4cm【隋】(7世紀)

主紋様は、内区に集う四神(玄武・青龍・朱雀・白虎)であるが、同心円状に象嵌された色鮮やかなガラスが衆目を集める。鈕頂部は円形の青いガラスが覆われ、それを取り巻く鈕座には赤青緑黄の四色のガラスが八葉の宝珠形にはめ込まれている。内圏は一六区画、外圏は三二区画に規則的に配色された方形のガラスが象嵌される。ガラスの下には、薄地の金属を切り抜いて仕上げられた文字(「命」か)や瑞獣が認められる。整然とした配色と緻密な造作は、他に類例を見ないものとなっている。



螺鈿瑞花紋八花鏡 径30.5cm【唐】(8世紀)

虹色に輝く南海産の夜光貝を花卉や葉に象り、葉や葉脈を描いて、中央には赤い琥珀を埋め込む。これらを、トルコ石やラピスラズリの細片を交えた樹脂に放射状に配置している。外縁に切り込みを加えて八弁の花に見立てた鏡背全面に、光彩を放つ花卉の群れが咲き誇っている。螺鈿鏡は、宝飾鏡とも呼ばれる。特別な技術と意匠を駆使した鏡であり、単なる鑄出しの銅鏡には表現できない一層の装飾性と色彩豊かな精華が反映されている。唐代金属工芸の一つの到達点を示す作品である。

